



野外での過酷な環境下にて動作する製品です。  
定期的にテストを実施し、正常動作することを確認してください。

## ■ センサーの汚れ

光センサー、距離センサー、温度センサーはいずれも、レンズ部分の汚れで誤反応を起こすことがあるため、泥などは布で拭き取るようにしてください。

## ■ 電池交換

電源を入れた時、1分間音とランプが点滅したらバッテリー切れです。  
新しい電池に交換をしてください。

## 「故障かな？」という時

## ■ 誤捕獲した！場合

- 距離センサーの調整ができない  
距離テストで再設定してください
- センサー下に餌の山ができる  
センサーより少し奥にエサを置いてください
- 鳥に反応して落下  
シカ・イノシシの場合、捕獲モードを【夜】にして使用

修理を依頼される前に、まずご自分でテストモードで全てテストをおこなってください。  
テストされた上で、異常のある場合はお問合せください。

## ■ 捕獲出来ない！場合

- センサーが汚れている  
布で拭き取るようにしてください
- 電池がない  
電池を交換してください

## 問い合わせ先 株式会社アイエスイー

〒516-0802 三重県伊勢市御園町新開 80 番地 大西ビル 301 号  
TEL : 0596-36-3805 FAX : 0596-36-3847 E-mail : info@ise-hp.com

## 本製品の保証について

1. この取り扱い説明書は保証書と兼用になっております。  
ご購入日より 6 ヶ月間※、保証書をご提示いただくことで無償修理、同等製品との交換をおこないます。

\*ご愛用者登録カード（製品に同封のハガキ）をご返送いただいた場合は、保証期間 1 年間となります。

2. 保証（修理）申込みの際は納品書も必ず一緒にご提示ください。

3. 次の場合は保証期間内でも保証対象外となります。

- \* 使用上の誤り、改造などをされた場合。
- \* お客様による落下、高温多湿などの劣悪な場所での保管による故障や損傷。
- \* 動物による破壊や火災、地震、落雷などの天災による故障や損傷。

## アニマルセンサー LITE 保証書

持込修理

品名	アニマルセンサー LITE
型式	AMSL-100
S/N	ASL-S _____ <small>※製品外箱および本体 BOX 内部に表示されています。</small>
保証期間	納入日から 6 ヶ月
納入日	年 月 日
お客様	
取扱販売会社	

ライト  
アニマルセンサー LITE 特許第5696997号 取扱説明書

2021.12



ご使用の前に説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。  
誤った使い方は重大な事故につながる危険性があります。

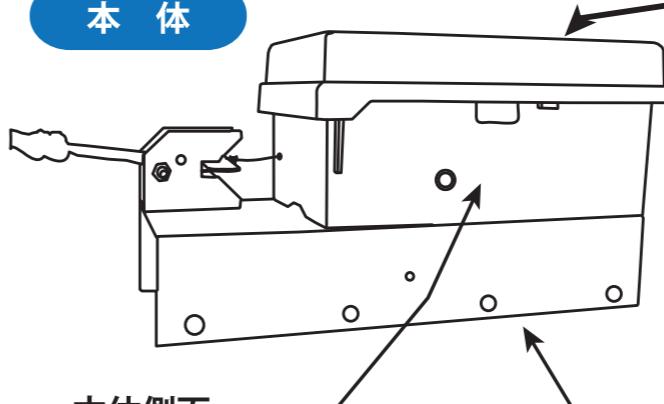
## 安全上のご注意

必ずお読みください

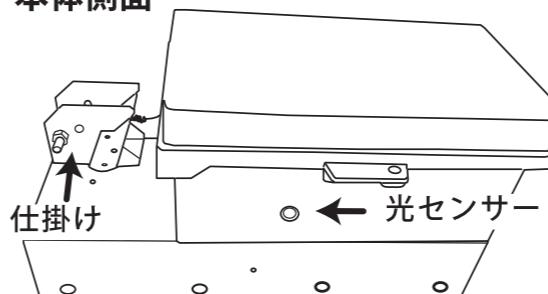
- 電源スイッチが「入」での電池交換は故障破損の原因となりますので、必ず「切」の状態でおこなってください。
- センサーボックス内に水を入れないでください。故障破損の原因となります。
- 当製品の改造は非常に危険ですのでおこなわないでください。

## 各部のなまえ

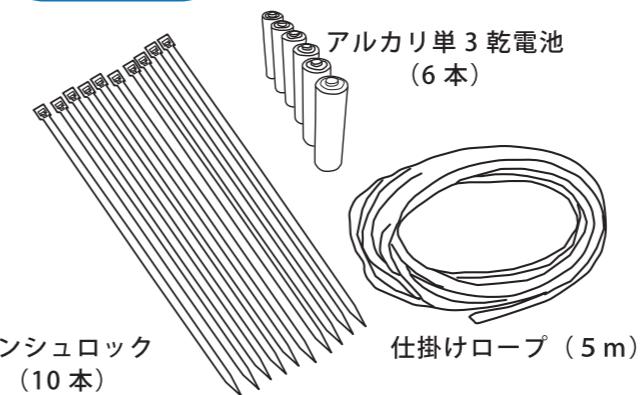
## 本体



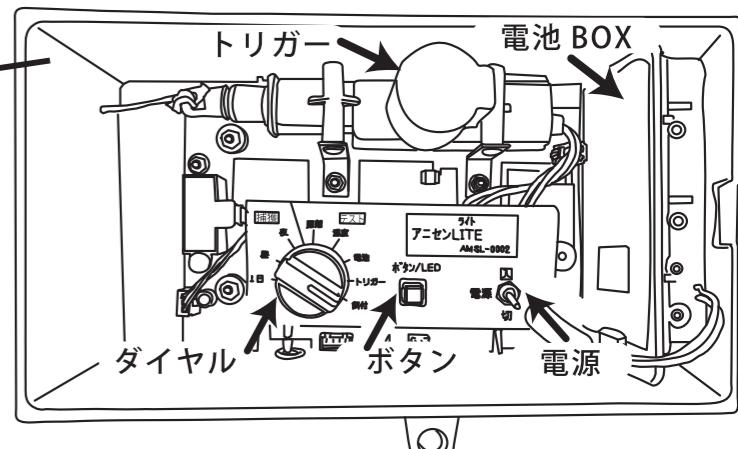
## 本体側面



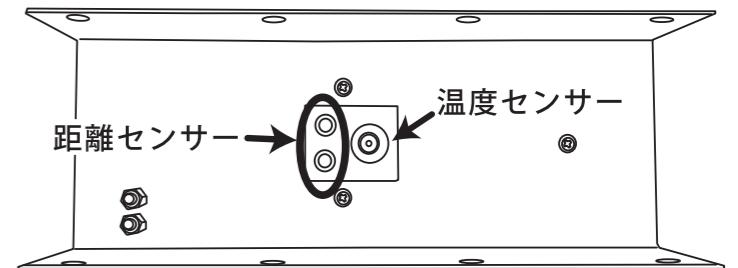
## 付属品



## ボックス内部

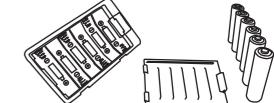


## 本体底面



## 充電池の使用について

充電池の使用は可能です。  
ただし以下の点についてご注意ください。



- ▶ 電池残量表示は、満充電でも 3 回点滅（やや満タン）となる場合があります。電池の持ちは、アルカリ電池とほぼ同じです。
- ▶ 電池低下により、トリガーの引っ張りが弱くなる可能性があります。

\* 引っ張りが弱いとトリガーが途中でつかえてしまい、ゲートが落下しない場合があります。その場合は、仕掛けを浅くかけるなどして、なるべく仕掛けが外れるようにしてください。

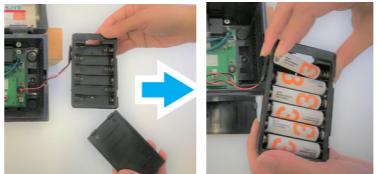
## ご使用の前に

### 電池の出し入れ方法

- 1 電源が「切」になっていることを確認する。
- 2 電池 BOXを取り出す。



- 3 電池 BOXの蓋を外し、電池をセットし、蓋を閉める。
- 4 元のところに戻す。



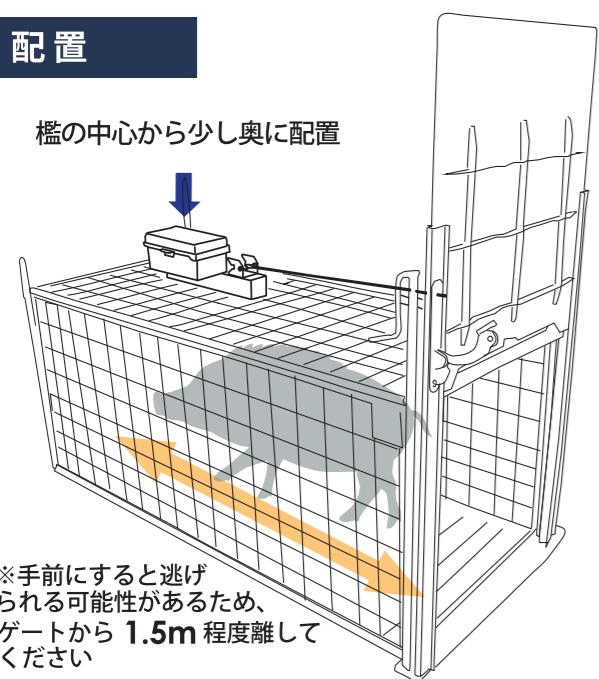
電池 BOX がこの種類の場合、  
〇部分を外さないようにして  
ください。

POINT  
矢印の方向へ押すとマジック  
テープが外れて、電池 BOX が  
取り出せるようになります。

### 設置と仕掛け方法

#### 配置

檻の中心から少し奥に配置

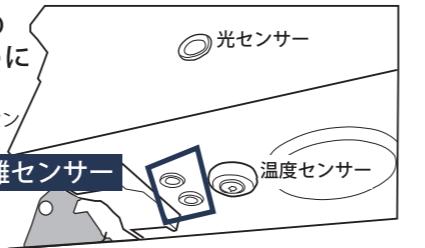


※手前になると逃げ  
られる可能性があるため、  
ゲートから 1.5m 程度離して  
ください

#### 置き方のポイント

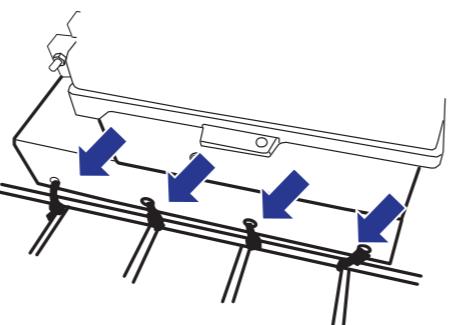
距離センサーの位置が檻の  
メッシュにかからないように  
配置

※メッシュとかぶつてしまふと距離セン  
サーの設定ができなくなります



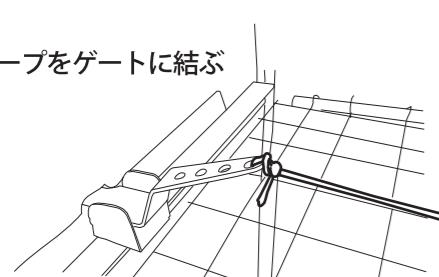
#### 固定方法

付属のインシュロックや番線を使用  
し本体を固定してください



### 仕掛けのつけ方

#### 1 ロープをゲートに結ぶ



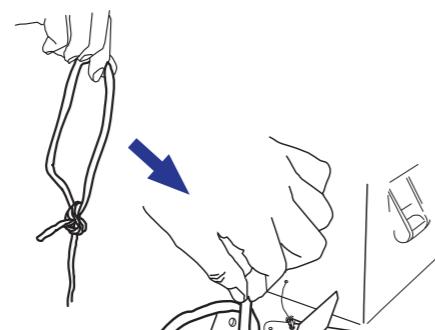
鳥居型  
(ゲート枠の  
上部に横柱あり)



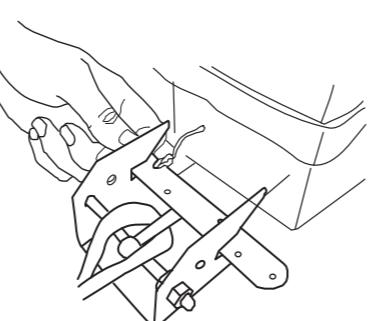
非鳥居型  
(ゲート枠の  
上部に横柱無)



#### 2 ロープのもう片方で輪をつくり、 仕掛けにかける



#### 3 仕掛けを押さえパネルで 固定する

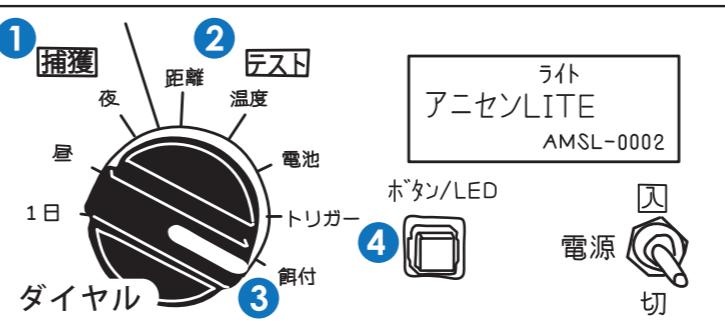


## 操作・動作方法



### ダイヤル変更後は必ず電源を一度切って、入れ直してください

電源を入れなおすことで、変更後の機能に切り替わります



#### ① 捕獲モード

捕獲動作を希望の時間帯に設定します

夜 … 夜だけ監視し、反応すれば捕獲  
昼 … 昼だけ監視し、反応すれば捕獲  
1日 … 1日中監視し、反応すれば捕獲

※昼夜の状態は光センサーで判断します。  
※捕獲モードは、④ボタン／LED が約 10 秒間点灯後に稼働します。  
※昼モード時は、周囲が暗いと④ボタン／LED が点灯しません。  
※夜モード時は、周囲が明るいと④ボタン／LED が点灯しません。

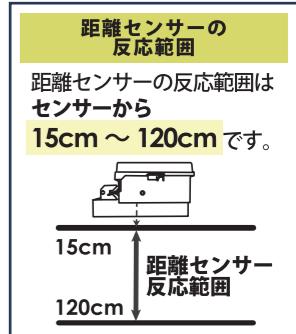
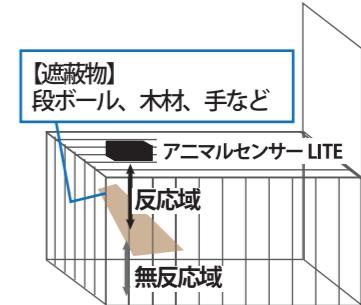
#### ② テストモード

各機能の動作確認、センサー設定をおこないます

##### ● 距離

センサーが反応する距離の確認と設定

1. ダイヤルを「距離」に合わせる
2. 電源スイッチを「切」→「入」
3. センサー下の反応させたい高さに遮蔽物を置く
4. ④ボタン／LED を長押し「ピーッ」と音が鳴り設定完了
5. 設定後、反応域に遮蔽物をかざすと「ピピピッ」と音が鳴ります。反応がないと音は鳴りません



##### ● 温度

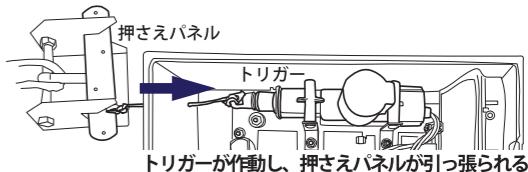
センサーの反応を確認

1. ダイヤルを「温度」に合わせる
2. 電源スイッチを「切」→「入」
3. ④ボタン／LED が 10 秒間点滅
4. 手など温度のあるものをかざし、反応があると「ピピピッ」と音が鳴ります

##### ● トリガー

トリガーの動作を確認

1. ダイヤルを「トリガー」に合わせる
2. 電源スイッチを「切」→「入」
3. ④ボタン／LED を押すとトリガーが作動します



#### ③ 餌付モード

餌付け時からセンサーの環境に慣れさせることで、スムーズな捕獲へ導きます

1. ダイヤルを「餌付」に合わせる
2. 電源スイッチを「切」→「入」

3. 餌付モード作動中に、距離センサー・温度センサーに目的の獣が反応した場合、④ボタン／LED を押すと LED が点灯し、出没が確認できます

POINT

捕獲ができる合図。捕獲モードに切り替えれば目的の獣を捕獲できる可能性が高まります。

※「餌付けモード」は 24 時間監視状態で電池の減りが早いため、こまめな電池交換が必要です。  
(1か月に 1 回の交換が目安)

※万一の場合に備え、作業等でわな内に入る際は、必ず扉（ゲート）のストップバーをかけてください。



##### 餌付けモード\*

- ・24 時間センサー監視状態
- ・反応してもトリガーは作動しない

##### 捕獲モード

- ・警戒心のうすれた獣を捕獲

平成 29 年度農林水産省「野生鳥獣被害拡大への対応技術の開発委託事業」における兵庫県立大学・三重県農業研究所との共同開発